

農場通信 D棟

inochio
GROUP

【発行元】

 イノチオホールディングス株式会社
 営農支援部営農支援課 支援チーム

TEL:0531-23-3391

http://www.inochio.co.jp/

1. 収益性の高いイチゴ農園経営モデルの実践



章姫 - 1年株



章姫 - 2年株

第6腋花房の頂果、第2,3果の収穫期ですが、5月31日を以って今期の収穫を終えました。

灌水管理では、5月上旬より午前中の排水量が減ったため、1回あたりの灌水量を増やしました。しかし、曇雨天の日には、葉水が多く観察され、果実も軟化しやすい傾向があったことから、灌水量を減らしていました。その結果、昨年に比べると5月でも軟果は少ない傾向でした。

次月号では、収量や栽培管理の報告をいたします。

栽培概要		2016年5月31日現在
定植日	2015年9月18日	
栽培品種	章姫、紅ほっぺ	
栽植密度	株間 約 20.9 cm、二条千鳥植え	
灌水設定	65~75cc/株/回、1~5回/日 タイマー 6:30 日射制御 6:00~14:30, 280 J/cm ² 毎	
給液EC	0.70~0.80 mS/cm	
排液EC	0.60~0.80 mS/cm	
ミスト設定	7:30~16:00 飽差 7 g/m ³ 16:00~7:30 飽差 20 g/m ³	
緑色LED電照	12:00~13:00 うどんこ病抑制	
CO ₂ 施用	390ppm以下で施用 (施用なし)	
天窓	7:00~16:00 25℃ 16:00~7:00 10℃ (終日ほぼ全開)	
摘花	頂花房 7~12果/花房 第1,2腋花房 7~8果/花房 第3腋花房以降 3果/花房	

2. ICMによるイチゴ栽培

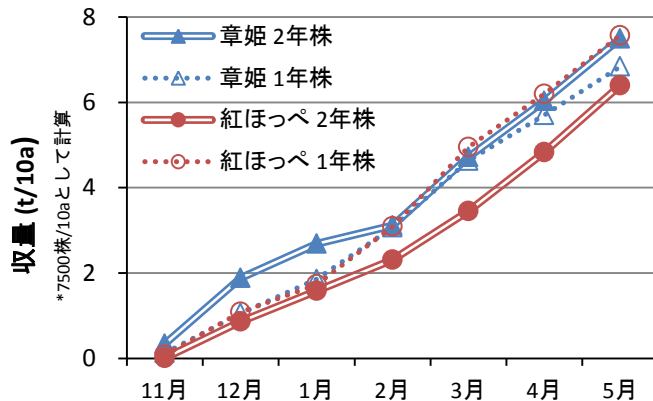
IPMの観点で行っている病害虫管理ですが、5月はアブラムシが大発生しました。コレマンアブラバチのマミーも数多く観察されたものの、繁殖が抑えられなくなったために「チェス顆粒水和剤」を散布しました。

<農薬使用回数の削減状況>

薬剤カウント数 (2015/9~2016/5)		殺菌剤	殺虫剤	
比較対象	当社の一般的な防除暦 (天敵利用時)	21	25	
当試験実績	1年株	7	9	
	2年株	1年目	4	8
		2年目	9	9

当試験の農薬使用実績は、一般的な防除暦の半分以下でした。なお、2年株における2年目の回数は、1年目の収穫終了時からカウントします。

品種/栽培年別の収量推移 (5/30現在)



章姫の2年株では、脇芽の生育が旺盛で果実数が増加し、収量が伸びました。その結果、収量は2年株が1年株よりも多くなりました。

一方で、紅ほっぺの2年株では、脇芽の生育が弱く果実も小さかったため、収量が1年株よりも少なくなりました。紅ほっぺの1年株の収量は、**7.57 t/10a (1009 g/株)**に達し、過去最高でした。